

昭和十九年

沖縄部隊情報綴



防衛研修所図書館

4 i to
ld.

CONFIDENTIAL

JICFOA NO. ~~8-262608~~ P. I. S. No. 23000 Ord. Serial No. _____

Date: _____ Source: OTI

Issuing Authority:

Title: Report on New Small model airplane

Description: Serial bomb dropped in

with attack on Canton, 27 August, 1944.

2pp - mimeographed.

58082

Disposition: To Washington

Scanner Ky Hsu
(full surname)

#286

親漢禪
八六
禪
六口
近
暴
禪
星
受
二
三
六
軍
真
二
特
良
言

隊令
寫部

特近
13

48006

球情速報第七號

昭三九、軍司令部
昭三九、軍司令部
昭三九、軍司令部
昭三九、軍司令部

八月二十七日、八日夜間廣東ニ來襲

セル敵機、投下セル小型特殊爆彈ニ就イテ

當時ノ狀況

八月二十七日及八日機ニ二三〇〇、二四〇〇ノ間敵機B25又ハB

Z4型二三機ハ廣東ニ來襲シ白雲天河兩飛行場附近

白雲高射砲陣地龍潭貨物廠ヲ爆襲スルニ際シ本小型特

殊爆彈ヲ使用セリ

二、小型特殊爆彈ノ機構並ニ作動ノ概要

本爆彈ハ先年歐洲戰線ニ於テ使用セラレタル「モロトフ」ノ「マン

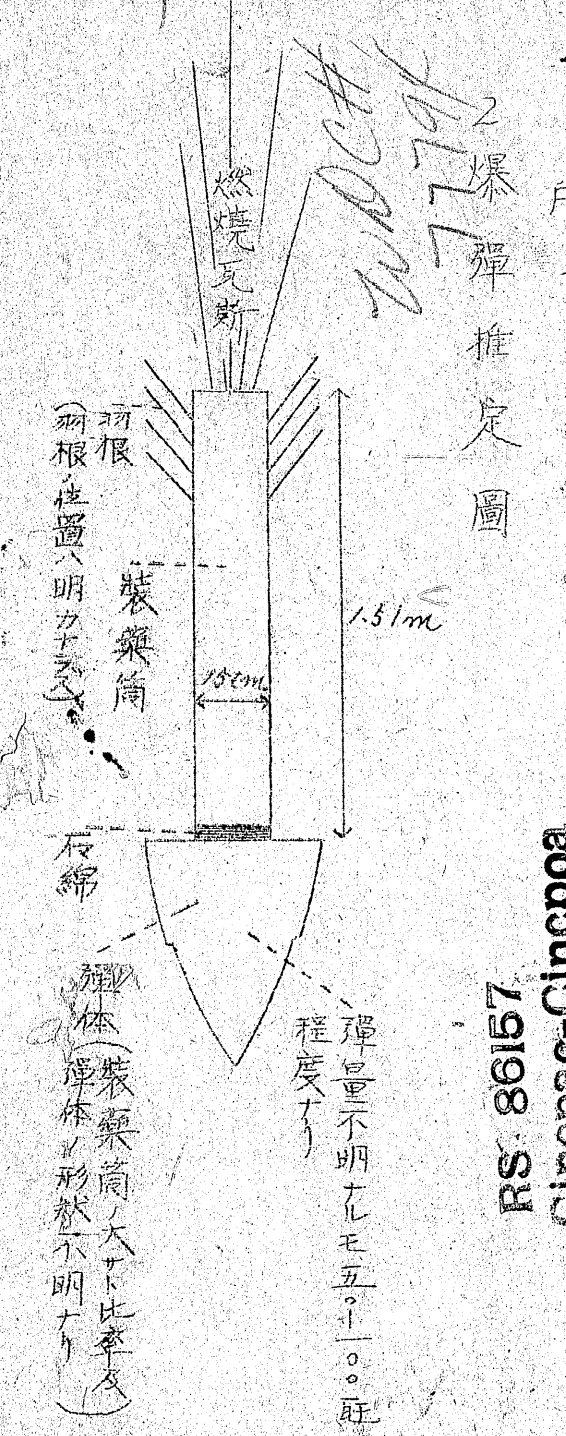
ダ」式ノモノニシテ當方面ニ對シテ初メテ使用セラレタルモノナリ

乙、型狀（圖示參照）

親爆彈ハ六ヶ月前に暴彈ノ呈度ニシテ軍員ニ手良言

48006

Being Flown at 2,000 ft



石十四情第三。號
 情 報 記 録
 敵艦 載機裝備ノロケット山爆弾ニ就テ
 F6F ヘルキヤット
 WDC# 7777
 2 爆 彈 推 定 圖
 RS-86157
 Cincpac-Cincpoa
 B-20275
 Okinawa 11 June
 昭和十九年十一月四日
 石第三五九五部隊

WDC# 80578

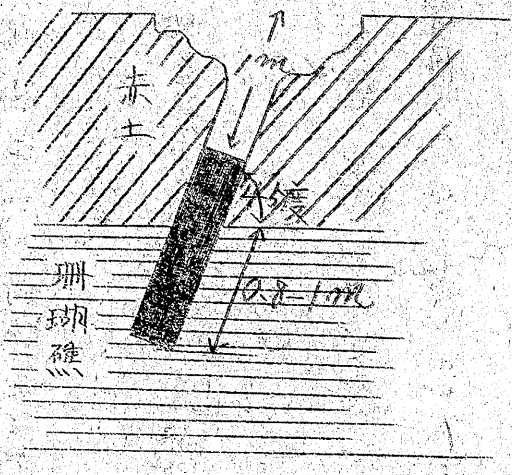
管空中ニ於テ起爆スルモノヲ装置ス
 子爆彈ハ直徑及高十九糎ノ特殊容器内ニ收メラレ親爆彈内ニハ二
 四箇ノ收納セルモノナリ
 投下ヨリ着地爆発迄
 飛行機ヨリ投下サレタル親爆彈ハ空中ニ於テ尖端時限信管爆
 發シ之ニ依リ親爆彈ハ縦ニ二ノ割ニ内部ニ收納セルニ四箇ノ子爆彈
 ヲ放出ス(子爆彈ヲ放出セル親爆彈ハ地上ニ落達スルトナリ)
 空中ニ放出セラレタルニ四箇ノ子爆彈ハ放出ト同時ニ開傘状トナリ契
 ヲ形成シテ旋回運動ヲ起スト子爆彈ノ第一安全装置ヲ解除ス
 次ニ着地ノ衝撃ニ因リ第二安全装置ヲ解除セラレ要発状態トナリ爾
 後極微弱ノ震動ヲ與フレバ信管裏發起爆セルモノナリ如シ
 尚一割ハ着地ト同時ニ爆発スルモノアリ
 三 小型特殊爆彈ノ殺傷力
 一 落達爆発點ノ至近距離ノ人馬ハニノ殺傷セシム
 二 爆發セル爆彈ノ破片ハ二米七附近迄飛散シ人体ニ外傷ヲ與フ

投下法

一般急降下爆薬ト同様ニテ投下高度五〇〇乃至一〇〇〇ニシテ投下時
 火煙ヲ放出ス

爆薬著ノ景況

- (1) 一般爆薬ト異ナリ彈道直進(急降下投下)スル結果小目標(掩体内
 飛行機、舟艇、砲門等)ニ對シテ命中精度良好ニシテ且炸藥量太
 ルテ以テ貫徹力大ナリ、十月十日當方面ニ於テ飛行場掩体内飛行
 機ヲ極メテ正確ニ爆轟シタルハ本爆薬ト思性セラレ、莫多シ
- (2) 船舶(三〇〇トモ級)ノ舷側ヲ約四十五度方向ニ射貫シ同般ハ火災ヲ
 生ジ數分ノ被彈ニヨリ沈没セリ
- (3) 裝藥筒ノ地中ニ落下セル狀況左圖ノ如シ



二月二十八日夜間廣東ニ來襲セル敵機ノ投下セル小型特殊爆薬ニ就テ
 當時ノ狀況

八月二十七日及八日概ネ二一三〇一四〇〇ノ間敵機ハB24型二一三機ハ
 廣東ニ來襲シ自雲天河兩飛行場附近白雲高砲陣地龍潭嶺
 物廠ヲ爆轟スルニ際シ本小型特殊爆薬ヲ使用セリ

2. 小型特殊爆彈ノ構造及作用ノ概要

この本爆彈ハ先年歐洲戰線ニ於テ使用セラレタルモノナリ。其ノ構造ハ海式ノモノニシテ當方西ニ於テ初メテ使用セラレタルモノナリ。

(1) 型狀(圖示参照)

親爆彈ノ大キハ概ネ六。母爆彈ノ程度ニシテ彈頭ニ時限信管(五十二)於テ起爆スルモノヲ裝置ス。

子爆彈ハ直径及高ナ九カ。特殊信管内ニ収メテ親爆彈内ニ三四個ヲ收納セラレアリ。子爆彈ノ重量ハ一五五ナリ。

(2) 投下ヨリ著地爆発迄

飛行機ヨリ投下セラレタル親爆彈、空中ニ於テ夫ノ時限信管爆発シテ之ニ依リ親爆彈ハ縦ニ三割レ内部ニ收納シテ三四個ノ子爆彈ヲ放出ス。子爆彈

放出セル親爆彈ハ地上ニ落達スルコトナレ

空中ニ放出セラレタル三四個ノ子爆彈ハ放出ト同時ニ開傘狀トナリ羽翼ヲ形成

シテ旋回運動ヲ起スト子爆彈信管ノ第一安全裝置ヲ解除ス

次デ著地ノ衝撃ニ因リ第二安全裝置解除セラレ撃発状態トナリ爾

後微弱ノ震動ヲ與フレバ信管裏ニ起爆セルモノ、如シ

尚一部ハ著地ト同時ニ爆発スルモノアリ

3. 小型特殊爆彈ノ殺傷力

(1) 落達爆発点ノ至近距離ノ人馬ハ之ヲ殺傷ス

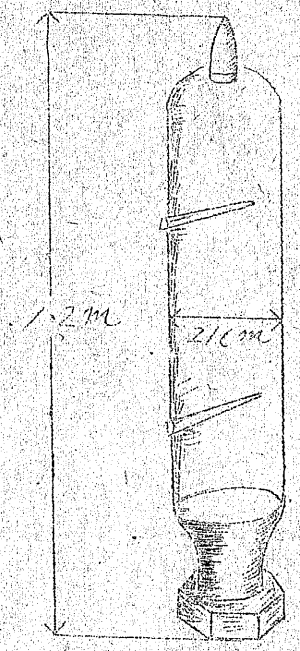
(2) 爆発セル爆彈ノ破片ハ二七米附近迄飛散シ人体ニ外傷ヲ與フ

(3) 爆風ニ依ル被害爆発点ヨリ五米以上離レザレバ鼓膜ニ傷害ヲ與フ

4. 爆彈ノ處分法

(1) 爆彈ニ絶対震動ヲ與ハサル如ク靜カニ鋼索ノ部分ニ相ツルレハ掛ケ
 五〇米離レル壕内ヨリ鋼ヲ引キ衝貫ヲ加ヘ起爆セルカスル候處分又
 (2) 前項取扱ハ兵技下士官同天等不慮彈ノ處置ヲ了得シレモミニテ
 實施セルノ取扱者ナキ場合ニ於テハ不慮彈ノ周圍ニ繩等ヲ張り危險
 標示ヲナシ其ノ處理ヲ委託スルヲ要ス

地上ニ落テ置セル親爆彈



子爆彈ノ收容狀況

